

比較検証用分析方法マニュアル

はじめに

モーションヒストリーは対象者の動きの履歴を頻度順に色分けして表示する機能である。よく動いた部分が赤く表示されるので、支援者が客観的に対象者の動きを観察できます。

比較検証用分析方法では、支援者の様々なアプローチに対して身体が発信する部位に違いがある事を比較しやすくしたツールです。そこで注意してほしいことは、画像を保存する間隔（秒数）をそれぞれ一定にする必要があります。

AとBのそれぞれの反応の比較検証を行うポイント

良い例：Aの支援に5秒間隔で画像を撮影、Bの支援も5秒間隔で画像を撮影


悪い例：Aの支援は5秒間隔で画像を撮影、Bの支援は8秒間隔で画像を撮影

良い例の場合はA Bとも **撮影間隔が同じ**である為画像を比較しやすいのですが、悪い例の場合は正確なデータとして比較することは難しいと考えられます。

支援者は、対象者の発信までの時間や活動内容により撮影間隔を調整し、比較分析することをよろしくお願いいたします。

モーションヒストリーの記録方法（カラーモード及びフェイススイッチ）

例：モーションヒストリーの起動に☒を入れ、支援者が対象者にアプローチを行います（図1）。

アプローチを行い、撮影する秒数毎に  を押して動きの様子を保存する（図2）。

活動内容によって撮影する間隔を調整して下さい。

支援が終われば図1の起動のチェックを外し、☐ 起動

最後に を押して動きの履歴をリセットし、次の支援に備える（図3）。

図1、図2、図3を繰り返し行い、どの支援の時の興味関心を持って身体の動きが大きかったか確認を行う。



図1 モーションヒストリー起動



図2 モーションヒストリー撮影



図3 モーションヒストリーの停止



図4 動きの履歴クリア

モーションヒストリーの記録方法（距離モード）

例：カラーモード、フェイススイッチと表示方法が違い、起動ボタンに☑を入れる箇所はありません。

距離モードではヒストリーを起動することでオン、オフとなります（図4）。


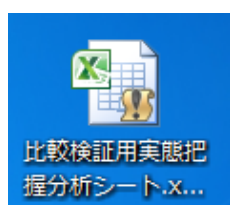
後は  を決めた秒数毎に操作することです。



図4 距離モードによる表示

*** 記録した画像では、西暦-月-日-時-分-秒で名前が付けられるため、どの言葉かけ（内容）を行ったか支援者はしっかり把握しておく必要がある。**

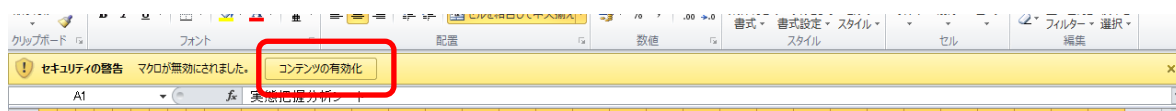


Excel2010 表示



Excel2013 表示

セキュリティの警告 が出てきたら **コンテンツの有効化** をクリックしてマクロを有効にして下さい。
セキュリティ警告が表示されない場合もあります。










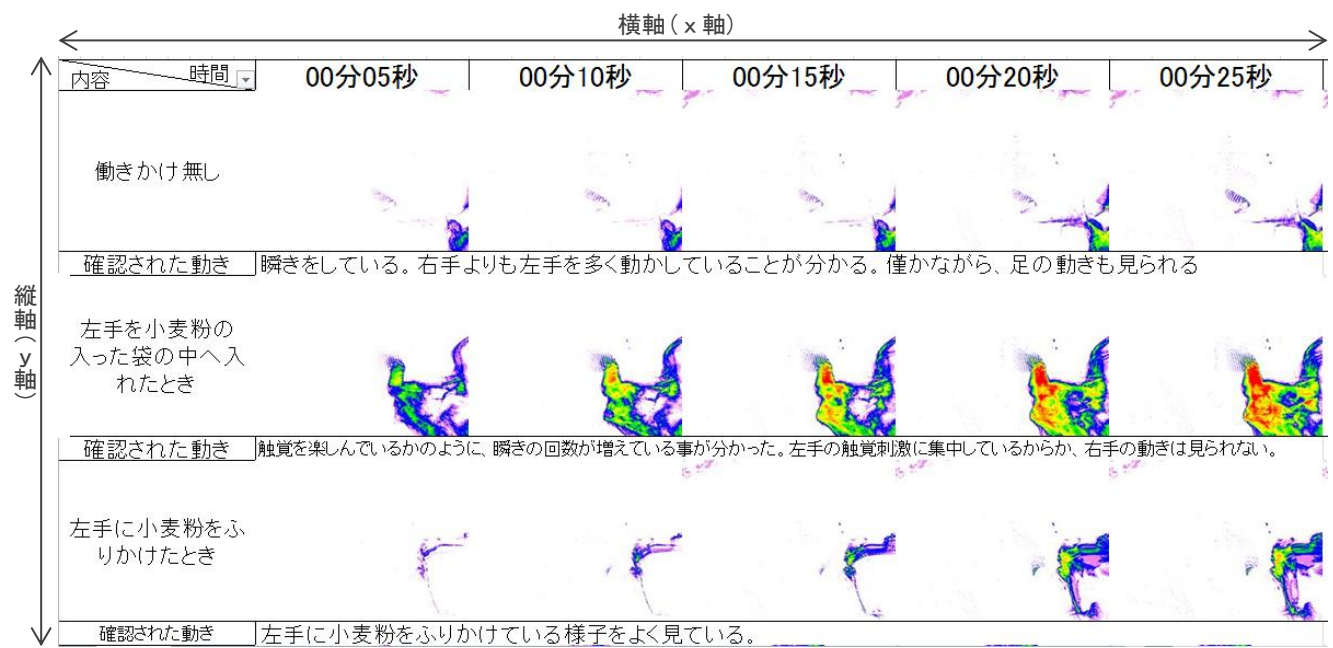
モーションヒストリーで撮影した記録をまとめる方法（Excel）


	ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・随意運動による動きを発見する ・触覚刺激に対して身体の動きを確認する 				授業者
	学部	氏名	姿勢	記録日			〇〇〇〇
	小学部	〇・〇	仰臥位(仰向け)	27	年	4月1日	
	天気	気温	湿度	体調	撮影間隔	活動場所	
	晴れ	26℃	67%	普通	5秒	〇〇教室	
モーションヒストリーの動き							
	少	1	2	3	4	5	6多

身体の動きや反応から分かったこと
・快を得られやすい触覚刺激に対して、リラックスしながら感触を楽しんでいる様子が見られる。

- ・ **RGB 画像**：対象者がどの位置から撮影されたかより分かりやすくしたものです。カラーの画像で姿勢や表情等を確認することを目的とする。
- ・ **ね ら い**：本時のねらいを明確にし、学習活動に取り組むようにする。
- ・ **授 業 者**：本時の授業者を入力する。
- ・ **学 部**：対象者の学部を入力、もしくは選択する。（学部は別シートにも反映されます）
- ・ **氏 名**：対象者の氏名、もしくはイニシャルを入力する。（氏名は別シートにも反映されます）
- ・ **姿 勢**：本時の撮影時の姿勢を入力、もしくは選択する。
- ・ **記 録 日**：いつ撮影を行ったのか入力、もしくは選択する。（日付はシート名に反映されます）
- ・ **天 気**：本日の天気を入力する。

- ・ 気 温：本時の気温を入力する。
- ・ 湿 度：本時の湿度を入力する。
- ・ 体 調：本時の対象者の体調を入力、もしくは選択する。
- ・ 撮影間隔：活動内容から  を何秒間隔で記録したのかを入力する。
- ・ 活動場所：本時の活動場所を入力する。
- ・ 身体の動きや反応から分かったこと：記録をまとめる中で、分かったことを記入する。
- ・ モーションヒストリーの動き：  →  →  →  →  →  の順に動きの頻度を表します。



- ・ 内 容：縦軸（y 軸）に本時の活動内容について簡潔に入力する。
- ・ 確認された動き：モーションヒストリーの画像等から、確認された内容を入力する。
- ・ ：プルダウンメニューより、内容を厳選して比較することができる。

撮影間隔の表示						
内容	時間	00分05秒	00分10秒	00分15秒	00分20秒	00分25秒
	消	画像の一括挿入による 画像の挿入欄				
確認された動き						

画像の一括挿入の方法

1. 1月1日のシートを選択する。(始めのみ学部と氏名を入力するため)



2. 画像を挿入したい横軸の「画像の一括挿入」を押す

内容	時間	00分05秒	00分10秒	00分15秒	00分20秒	00分25秒
		<div>②</div> <div>画像の一括挿入</div>				
確認された動き						
		<div>画像の一括挿入</div>				
確認された動き						

3. 挿入する図の選択（複数選択可）が表示され、モーションストーリーの画像が保存されている場所を選択する。(例では③「ピクチャ」の④「OAK Photos」に保存されているので選択する)

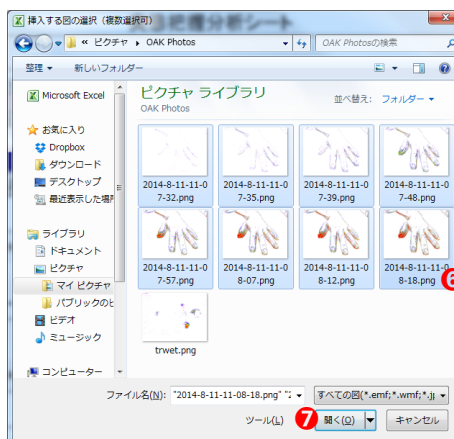
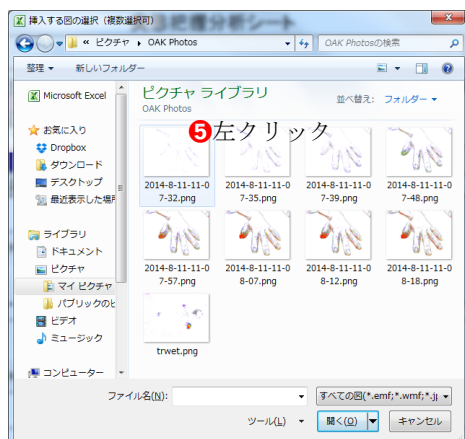


- ⑤挿入する画像の先頭を左クリックする。

- ⑥挿入する最後の画像はShiftを押しながら左クリックを行い、一括選択する。

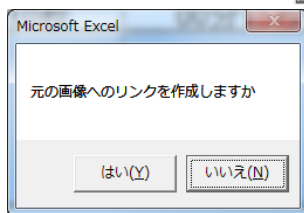
(Ctrl を押しながら左クリックの場合、一枚ずつ選択できる)

- ⑦挿入する画像が指定できたら「開く(O)」をクリック



挿入する最後の画像を
Shift+左クリック

4. Excel に貼り付けた画像にリンクを挿入し、拡大表示させる場合は **はい(Y)** を選択する。
 拡大表示させない場合は **いいえ(N)** を選択する。



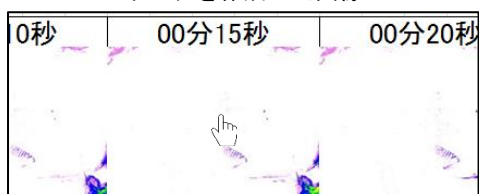
5. 画像が貼り付けられたのを確認

内容	時間	00分05秒	00分10秒	00分15秒	00分20秒	00分25秒
確認された動き						
		画像の一括挿入				
確認された動き						

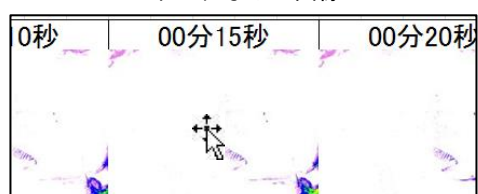
リンクを作成された画像はマウスが になります

リンクなしの画像ではマウスが になります

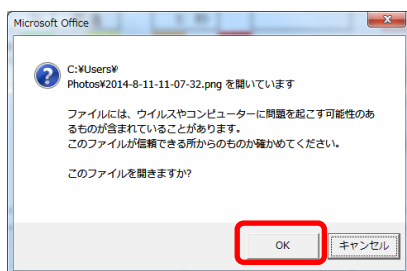
リンクを作成した画像



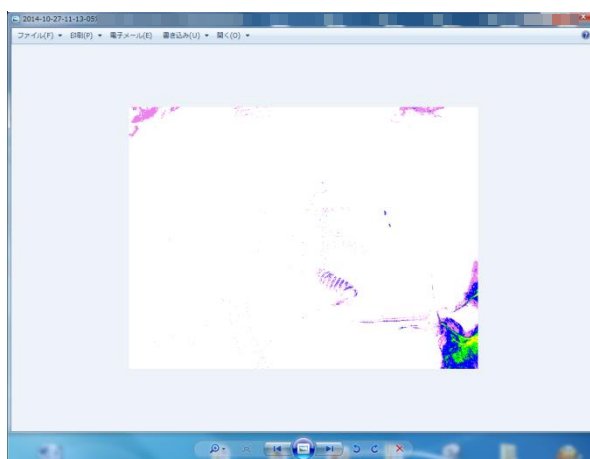
リンクなしの画像



* リンクを作成した画像を開く場合、セキュリティの関係上、下記の項目が表示される場合がありますが、**OK** を選択しファイルを開いて下さい。



拡大表示の例



6. データ保存の仕方

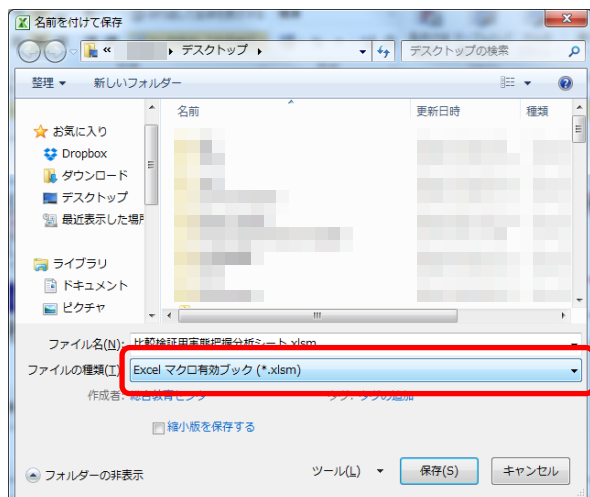
1. Excel データを保存する場所を選択

2. ファイル名を入力

ファイル名(N) : 児童生徒名やイニシャル等 自由

ファイルの種類(I) : Excel マクロ有効ブック (*.xlsm) **必須**

*** ファイルの種類は [Excel マクロ有効ブック (*.xlsm)] とする**

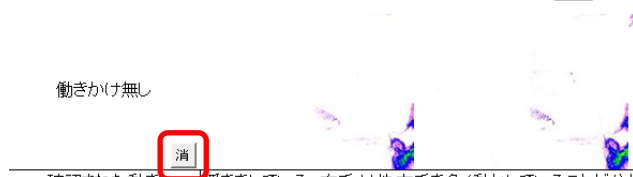


3. 保存をクリック

- * -

画像の削除の方法

挿入した画像を一括削除したいときに使用する。消 ボタンで横軸 (x 軸) の画像が削除されます。



シート見出し



記入例：本コンテンツの記入例として掲載。（編集不可）

1月1日：本シートから学部、氏名を入力して下さい。以降**0月0日**（赤いシート）に反映されます。

0月0日：2回目以降にご利用下さい。

月 日：シート内の記録日がシート名になります。

| 勢 | 記録日 | 撮影 |
|---|-----------------|----|
| 位 | 27 年 4 月 1 日 60 | |




シート見出しの増やし方

シート見出しを増やしたい場合に以下の方法でコピーして増やして下さい。

注意：0月0日の未編集のシートを選択して下さい。



1. **0月0日**のシートを選択し、**Ctrl**キーを押しながらドラッグすることでコピーできます。

Ctrlキーを押しながらドラッグすると、マウスポインタが  に変わります



2. コピー先でドロップすると新しくシートを増やすことができます。

